



(NO409)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139



塚原 静子様のご紹介

塚原 悟様 (夫)

塚原静子は、昭和十七年五月三十一日生まれの人十歳です。茨城の結城市で育ちましたが、私と教会で結婚式を挙げ、鹿島郡波崎町(現神栖市)に行き、二人の娘を育て、サザエさんと言われながら元気に頑張ってきました。

小学生から教会の日曜学校に通って信仰をもっています。祈りをもって生活することの大切さを知っています。本当に人生の支えとなる信仰はこれからも生きて支えてくれます。私を支えてくれた妻がキリストの愛を思いながらこの神の庭で生活させてもらいたいと思います。入れて頂き本当に感謝しています。皆様といたわり愛しながら暮らしたいと願っています。

主よ。人とは何者なのでしょう。
あなたがこれを知っておられるとは。
人の子とは何者なのでしょう。
あなたがこれを顧みられるとは。

詩編 144編 3節



ホームページ

実りの秋 茄子の収穫

秋は美味しい食べ物がたくさんありますね!

特養主任ヘルパー 野田 望

特養の中庭で、育てていた茄子が大きく育ち、収穫できました。昔から農業に携わっていた方や、趣味で野菜や花を育てておられた方も多く、丸々と太った茄子を見せると「おお、立派だね。」「上手に育てたね。」「と目を輝かせて下さいます。利用者の居室窓に目をやると、ほおずきが、少し赤く色付き始めていました。ブドウも、ふつくと、たくさんの実を結んでいました。ブドウは残念ながら、観賞用ですが、施設内の廊下に飾ると、利用者の皆さんが「珍しいね。」「食べてみたいね。」「と様々な反応がありました。育ててくれた、職員や利用者に感謝しつつ、身近な「秋」を感じる事が出来ました。



立派なナスだよ～



見事なぶどう



小さなほおずき

【九月】

二日 ジャスミン理美容
二十日 敬老のお祝い会
二十九日 防災訓練

【十月】

四日 ジャスミン理美容
二十八日 防災訓練

※感染対策のため、行事は控えております。

八月の誕生者

堀越 絹代様 (八十一歳)

九月の誕生者

中島文子様 (八十三歳)
斉藤福松様 (九十四歳)
増田千代様 (九十六歳)
野澤千枝子様 (八十九歳)
有田孝子様 (七十五歳)
戸塚すい子様 (九十七歳)

Happy Birthday



お誕生日おめでとうございます。

人間のなす戦争

理事長兼総合施設長 宇都宮和子

八月に入り、三十五度を超す日々が続いたかと思えば、激しい雨と雷、各地で水の被害多くの建物や車等が水に流される映像を見て、二〇一五年九月の鬼怒川氾濫による常総市の水害を思い出す。今までに体験した事のない水の速さや、雨風の激しさに改めて自然の姿に成すすべもなく、静かに通り過ぎるのを待つだけに語る被害者の言葉が心に残る。

又、八月は広島、長崎が原爆を受けた、忘れる事の出来ない月です。初めて子供たちを連れて、広島の資料館を訪ねた時、その写真と映像に言葉も出ず、最後まで見る事が出来ませんでした。その後、広島を三回、長崎に五回行きましたが、その度に戦争の恐ろしさ、原爆の残した傷跡の深さを、心に刻んで来ました。広島に原爆が投下されて七十七年、いつものように広島市の平和記念公園で平和記念式典が行われています。その祈りの中でも、ロシアによるウクライナ侵攻がテレビで映し出されて六か月が過ぎます。片手に核のボタンを持ちつつ、戦争を続けるロシア。自然のなす災害は防ぐことは難しいが、人間のなす戦争は止める事が出来ます。何故、片手に核を持ち平和を叫ぶのか。その姿に理解できず、改めてリーダーの、一言一言が国を動かすことにも怖さを覚えます。地球は一つ、誰のものではありません。戦争の怖さ、原爆の怖さを強く受け止め、これからは祈り続けて行きます。



間もなく
紅葉の季節

新型コロナウイルスワクチン接種4回目

施設長 小川内秀樹

六月二十九日より七月下旬にかけて、四週に分けて、4回目の新型コロナウイルスワクチン接種を施設内で行うことができました。入居者様は四〇名近く、職員も三〇名以上が接種する事ができました。

七月下旬ころから現在に至る第七波感染急拡大は、高齢者施設にとっても脅威です。ウイルスを持ち込まない事を目標に日々の感染予防の励行手技を行っていますが、感染力の高いウイルスは、手ごわいのです。慎重に対処していきたいと思えます。このような中で、特養入居者様が、その生活が守られ、普段通りの時間が流れていることは、働く介護職員や看護師の感染対策への意識による事を感謝したいと思えます。

国の方針転換により、介護職員を含めた医療従事者へのワクチン接種対象の拡大が図られ、急ピッチで準備を進めました。医療機関の協力により、八月十日より実施できる事となりました。

施設を利用する在宅サービスご利用者の方々にも、ご家庭での感染予防のご協力をお願いします。同居ご家族様などの体調不調等が見受けられた場合には、在宅サービスを利用する前に、施設へご連絡を入れて頂きますようお願い致します。

八月・九月のボランティア

※現在コロナの感染対策の為、ボランティア様の受け入れを中止しております。

アイスクリーム

憩いの汀ヘルパー 稲葉千鶴

八月二十二日に、ご利用者の方々へ、アイスクリームの提供を行いました。ヘルパーがアイスクリームメーカーを巧みに操作し、チョコ、抹茶、ストロベリー、マンゴー、バナナ、チョコバナラツイスト、の六種類の味から選んで召し上がって頂きました。

残暑も続き、夏バテ気味でも、冷たくて美味しいアイスなら笑顔で完食することが出来ました。

コロナ禍で行事も減り、なかなか季節を感じて頂く機会が少なくなっていました。冷たくて甘くて、美味しいアイスクリームで、少しでも夏を感じて頂けたら...と思います。



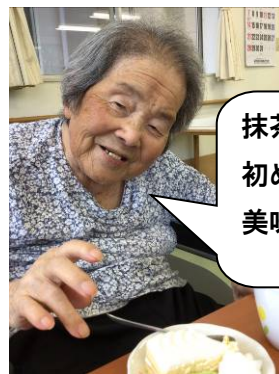
やっぱりチョコでしょ！



アイスクリームの風景



皆様、アイスに夢中です



抹茶のアイス
初めて食べた。
美味しいね。



アイスは久しぶりだね

【編集後記】

まだまだ暑い日が多く過ぎにくい日が多いですね。体調にお気を付けてお過ごし下さい。

ほほえみ担当 高橋・鳥飼

相談員日誌

「夏から秋へ」

宮本 隆幸

九月に入り、段々と秋へと季節が変わり始め、暑さも落ち着いてきました。八月から九月は、全国的にコロナ感染が拡大し、施設での対面面会を中止とさせて頂きました。施設内感染は、今年の初めに降なく、今日まで守られ経過しております。

この時期になると昔、農家をされていた御利用者から稲刈りのお話をされる方や旅行が趣味であった方からは、紅葉のお話しをされる方などが上がります。九月十九日は、敬老の日です。コロナが流行する前は、「家族と共に」という大きな行事を行っていましたが、今回も縮小した形で開催致します。

九月十二日(月)より対面面会が再開となりました。感染状況によっては中止となってしまう可能性もありますので是非とも様子を見に来て下さい。オンライン面会も行っております。季節の変わり目どうか体調にお気を付け下さい。